

## 情報活用単元デザインシート

学年・教科	3 年 社会科・総合的な学習	単元（教材）名	店ではたらく人びとの仕事を調べて伝え合おう
時数	18 時間（本時：5 時）	日時	令和 2 年 9 月 16 日（水） 第 5 時限（14:00－14:45）
場所・教室	3 年 1 組 教室	授業者	金 玲 佳
単元のねらい（目標） ○日常生活での買い物経験から、地域には様々な店があることに気づき、それぞれの店のよさや、特色について理解することができる。 ○調べたことをわかりやすくプレゼンテーションにまとめ、他校の相手と伝え合うことができる。			

### 単元の評価基準

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>家の人の買い物の仕方を地図やグラフにまとめ、その結果を読み取っている。</li> <li>店が集客のため、価格、安全・安心、品質、利便性に関する取り組みや工夫をしていることを理解している。</li> <li>野菜や果物などの産地を地図にまとめることから、店が他地域や外国とも結びついていることを理解している。</li> <li>商店街を見学して、店の様子や聞き取ったことをメモしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スーパーマーケット（以下スーパー）と比べ、コンビニエンスストア（以下コンビニ）の工夫を考えている。</li> <li>スーパー、コンビニと比べ、商店街の工夫を考えている。</li> <li>買い物客を集める店の工夫について、販売店側の工夫と消費者側の工夫について関連づけて考えている。</li> <li>今まで学習してきたことをもとに、消費者のわたしたちの願いや都道府県や外国とのつながりを大切にするためのスーパーの工夫について考え表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域には様々な店があることに気づき、買い物調べについて意欲的に取り組もうとしている。</li> <li>店の見学について、調べる対象や方法を明確にし、見学の計画を立てている。</li> <li>これまでの学習を振り返り、買い物をするとき、自分が気をつけることを考えようとしている。</li> <li>他校の相手に伝わりやすい発表を意識して取り組んでいる。</li> </ul>

### 指導にあたって

#### (1) 児童観

本学級の児童は、5 月の分散登校時から様々な教科で ICT を活用した授業に取り組んでいる。まずタブレット端末で文字を入力できるようにするために、5 月の分散登校時からローマ字学習を行った。そして、6 月以降には、総合の時間や短時間学習時に、「キーボー島アドベンチャー」を使ってローマ字入力を何度も練習した。その結果、現在ではほとんどの児童がキーボードを使って文字入力ができるようになってきた。また、7 月以降は、「発表ノート」や協働学習アプリ「コラボノート」を使い、児童が自ら撮影した写真や、インターネットで調べた画像をスライドに貼り付けたりする活動を行った。例えば、図画工作科の「かげ絵を作ろう」では、グループに一台タブレット端末を用意し、撮影する人、作品を作る人、写真をトリミングする人と役割分担をして行った。作

品を撮影し残すことで、後日児童の考えたかげ絵を学級で鑑賞することができた。また、活動にあたっては、NHK for School の「しまった」を視聴し、撮影時には許可をもらうことや、周囲への配慮が必要などの情報モラルを理解した上で行った。このような学習を通して、今では児童が自分の意見をスライドにまとめ、グループ内でそれをもとに話し合うことができるようになってきた。しかし、児童の作成したスライドは、文字が小さかったり、黄色や黄緑色を文字色で使い見えにくかったり、不必要な文が多かったりなど、聞き手を意識して作成するという点において課題が残っている。

また、今年度は新型コロナウイルスの影響で社会見学や遠足など校外での学習活動ができない状況である。その為、少しでも他地域との違いや共通点を知るために、大阪市立南港桜小学校3年生とオンライン会議アプリを使って遠隔交流を行ってきた。

遠隔交流を始めるにあたって、最初にそれぞれの教室から簡単な自己紹介をした。授業後の児童の感想は、「クラスの人数が多くてびっくりした。」や「制服じゃなくて、私服だった。」など普段当たり前だと思っていたことも地域や場所によって違うことに気づくことができた。また、給食の様子を交流したり、昼休みの様子について話し合ったりなど、児童が遠隔交流に少しずつ慣れてきたように感じる。

次に、国語科「メモを取りながら話を聞こう」で遠隔交流を行った。あらかじめ質問を設定し、その回答を両校が発表し合う活動である。また、回答を聞く際にはメモを取りながら聞くようにした。本校は、「学校周辺で有名なお店はありますか。」という質問に対して、発表ノートで児童ひとりひとり有名なお店を取り上げて、インターネットで情報を集めて回答を考えた。しかし、児童が回答を発表する際、声が小さかったり、読むのが速かったりして、南港桜小学校の児童が聞き取りにくく、メモをとるのが難しいという課題があった。

## (2) 教材観

児童観で述べた、スライド作成や、遠隔交流の発表での課題から、本学級の児童に「聞き手に伝わりやすい発表づくり」を意識付けたい。その為に、社会科「店ではたらく人びとの仕事」を教材にするのが有効だと考えた。理由は、本単元の目標から聞き手を意識した発表作りが行いやすいということである。まず、単元の始めに各家庭で買い物調べるを行う。普段どのような店で買い物をしているのか、なぜその店なのかを調べ、その結果をグループ毎に分かれて発表ノートにまとめていく。調べた結果から、買い物に行く店の種類や交通手段をぼうグラフにまとめたり、店を選ぶ上でのポイントを箇条書きにまとめたりすることで、児童がスライドを使った作業に進んで取り組みやすいと考える。

また、他地域との比較として南港桜小学校と遠隔交流を行う。今里小学校近辺は商店街があり、さまざまな種類のお店が並んでおり、買う品物によって店を選ぶことができる。それに対し、南港桜小学校は、大型スーパーマーケットでの買い物が中心となっている。したがって、両校が発表し交流しあうことで、他地域での買い物の特徴や違いを知り、地域には様々な店があることをより深く理解することができると考える。

## (3) 指導観

聞き手に伝わりやすい発表を意識させるために、2つの点について取り組む。

1つ目は、スライド作成にあたっての留意点を知る活動である。NHK for School「しまった～プレゼンテーションを作る～」を視聴し、文字を大きくする必要性や、色使い、また、グラフや表にまとめたり、最適な写真を貼り付けたりすることを理解させていく。そして、発表の際にも「し

まった～話す力を高める～」を視聴し、声の大きさや、速さなど、普段の発表よりも気を付けないといけないことを知り、意識付けていく。

2つ目は、本単元で遠隔交流を2回行うことである。1回目は買い物調べから、どのような結果なのかを両校がそれぞれ発表ノートにまとめて発表し、その発表から気付いたことを「コラボノート」に入力し意見交流する活動である。1回目の授業後、児童からやってみての反省やよかった点を聞き取り、次回への課題を話合わせる。そうすることで、2回目の発表、意見交流がより円滑に行われることが期待できる。事前に発表交流する際のポイントや注意事項を学び、2度の実践を行うことで児童が聞き手を意識した発表ができると考える。

### 指導の流れ（社会科13時間、総合的な学習5時間）

時	学習活動	ICT活用のポイント	指導上の留意点
1	<p>○日常生活での買い物の経験を話し合い、地域には様々な店があることに気づく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段買い物しているところを知る。</li> <li>・買い物する店を考える。（スーパー、商店街、インターネットなど）</li> <li>・買い物調べの計画を立てる。</li> </ul> <p>（8月29日～9月4日）</p>	<p>○デジタル教科書や、資料を大型モニターに提示することで、課題を共有して話し合いを進めることができる。</p>	<p>○お店の写真を掲示し、さまざまな場所で買い物をしていることに気付かせる。</p> <p>○各家庭で買い物調べを行うことにより、店と生活との関わりに気付かせる。（※資料①参照）</p>
2 ～ 4	<p>○買い物の仕方について調べたことを、地図やグラフにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「しまった～プレゼンテーションを作る～」を視聴し、聞き手がわかりやすいまとめ方を知る。</li> <li>・買い物調べの結果をまとめる。</li> <li>・グラフや地図、写真などを使ってまとめる。</li> <li>・遠隔授業に向けての発表の練習をする。</li> </ul>	<p>○「しまった～プレゼンテーションを作る～」を視聴することで、聞き手を意識したスライド作りをすることができる。</p> <p>○「発表ノート」を使うことでふせんに書いた自分の意見を並べなおしたり、書き直したりすることで、意見を見直し、比較等が容易にできる。</p> <p>○インターネットで、関連する写真や地図を保存することで画像の修正ができたり、何度も使ったりすることができる。</p>	<p>○店の種類ごとの買い物回数（日数）を棒グラフに表すことで、どの種類の店での買い物の回数が多いか実感させる。</p> <p>○校区内にはどのような種類の店が多いか、どのような場所に店が多く集まっているかという特色をとらえさせる。</p>

5 (本時)	<p>○遠隔交流一回目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物調べの結果を発表する。</li> <li>・両校の似ているところと違うところを発表する。</li> <li>・感想を「コラボノート」に入力する。</li> </ul>	<p>○テレビ会議アプリ「Teams」を通して、他校と資料を共有して発表し合うことができる。</p> <p>○遠隔交流時に「発表ノート」を活用することで、画面上で資料を共有することができる。</p> <p>○本時の感想を「コラボノート」に入力することで両校の感想を円滑に共有することができる。</p>	<p>○発表時には、聞き手に伝わりやすい声で発表するよう意識づける。</p> <p>○両校が発表し合うことで他地域の買い物との相違点に気付かせる。</p>
6 ～ 7	<p>○店に並んでいる野菜や果物などの品物の仕入れ先を調べることで、店が他地域や外国とも結びついていることを理解する。</p> <p>○調べた結果を日本地図や、世界地図にまとめる。</p>	<p>○デジタル教科書や、資料を大型モニターに提示することで、課題を共有して話し合いを進めることができる。</p>	<p>○スーパーの店内写真を掲示し、お店が集客のために取り組んでいることや、工夫していることに気付かせる。</p> <p>○事前に各家庭でチラシを保管してもらい、それを用いて産地調べを行う。</p> <p>○グループごとに大きな白地図を配り、協働作業をしながら産地調べをさせる。</p>
8	<p>○コンビニの品物の売り方について調べ、スーパーの販売の仕方と比較して、店の工夫を考える。</p>	<p>○デジタル教科書や、資料を大型モニターに提示することで、課題を共有して話し合いを進めることができる。</p>	<p>○コンビニとスーパーでは、店の規模、商品の種類と質と量、営業時間などに違いがあることに気付かせる。</p>
9	<p>○商店街の取り組みや工夫を調べ、スーパーの販売の仕方と比較し、商店街の取り組みや工夫を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街の良さに気づく。</li> <li>・スーパーとの違いに気づく。</li> </ul>		<p>○商店街の写真から、多くの個人商店が並んでいることや、アーケードや掲示物などの商店街としての取り組みに気付かせる。</p>
10	<p>○自分たちがよく利用する店について、詳しく調べる計画を立てる。(ビス進興について)</p>		<p>○前時の振り返りを行い、今里商店街のよさや、特色について調べることを伝える。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お店の人に聞きたいことを考える。</li> </ul>		○ワークシートを用いて、質問したいことを具体的に考えさせる。
1 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ビス進興について学習する。</li> <li>・店内の写真を見る。</li> <li>・お店の人のインタビューを聞く。</li> </ul>	○タブレットを使って、店内の写真や、インタビュー動画を個別で確認することで、知りたい情報を何度も確認することができる。	○実際の買い物の経験とつなげて調べたり考えたりするようにさせる。
1 2 } 1 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時でわかったことを「発表ノート」にまとめる。</li> <li>・配付されたスライドをもとに班で分担して作成する。</li> <li>○店内の写真やインタビューのメモなどをもとに「発表ノート」のスライドにまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○写真の必要な部分をトリミングすることで、聞き手に伝えたい内容をより強調することができる。</li> <li>○「発表ノート」のグループ化機能を使うことで個人のスライドを簡単にまとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○机間巡視をしながら、児童のスライドを確認し、文字の大きさや色などを見て、誰が読んでもわかりやすいスライドになっているか確認する。</li> <li>○スライドを作成する人、発表時の文章を考える人に分かれて活動するよう指導する。</li> </ul>
1 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発表の仕方について考える。</li> <li>・1回目の交流での経験をもとに発表時に気をつけることや、改善方法について考える。</li> </ul>	○大型モニターに提示することで、課題を共有して話し合いを進めることができる。	○大型モニターに児童のスライドを投影し、実際に発表の練習をさせる。その時に、気づいた点を児童に伝え、訂正させていく。
1 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○遠隔交流 2 回目</li> <li>・今里小学校からは、「商店街の特徴や良さ」について、南港桜小学校からは、「スーパーの特徴や良さ」についてそれぞれ発表する。</li> <li>・両校の発表を聞いて似ている点と異なる点について話し合う。</li> <li>・本時の感想を「コラボノート」に感想を入力し、交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○テレビ会議アプリ「Teams」を通して、他校と資料を共有して発表し合うことができる。</li> <li>○遠隔交流時に「発表ノート」を活用することで、画面上で資料を共有することができる。</li> <li>○本時の感想を「コラボノート」に入力することで両校の意見を円滑に共有することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発表時には、聞き手に伝わりやすい声で発表するよう意識づける。</li> <li>○両校が発表し合うことで他地域の買い物との相違点に気付かせる。</li> </ul>
1 7	○スーパーの販売の様子を振り返り、店が買い物客	○デジタル教科書や、資料を大型モニターに提示する	○買い物客を集める店の工夫について、販売店側の工

	を集める工夫をしていることを消費者の立場からも考え、販売店側の工夫と関連づけて消費者側の消費行動の工夫を考えることができる。	ことで、課題を共有して話し合いを進めることができる。	夫と消費者側の工夫について関連付けて考えてさせる。  ○最近始まったレジ袋有料化に伴い、スーパーマーケット内の掲示物の変化や工夫について写真を見せて気付かせる。
18	○これまでの学習を振り返り、買い物をするときに自分が気をつけることを考える。 ・それぞれのよさを振り返る。 ・店の選び方、品物の選び方を考える。 ・ネットショッピングについて知る。	○資料を大型モニターに提示することで、課題を共有して話し合いを進めることができる。	○買い物調べをしてまとめた地図や、グラフなどを見直し、それぞれの店のよさや特色について考えさせる。  ○今後、買い物をするときにどんなことに気を付ければよいか発表させていく。

## 本時の学習（第5時）

### (1) 本時の ICT 活用について

授 業 形 態	■一斉学習    □ペア学習    ■個別学習
ICT 活用の場面	□導 入    ■展 開    ■ まとめ
I C T 活 用 者	■指導者    ■児 童    □その他（                      ）
ICT 活 用 の 目 的	■資料の提示(指導者)    ■資料の提示(学習者)    ■自分の考えをまとめる □ペアの考えをまとめる    ■他者との考えの比較・交流 □学習内容を調べる    ■自分の考えを表現する    □学習の振り返り □記録(写真・動画等)    □プレゼンテーション等の作成
活 用 機 器	□電子黒板    ■大型モニター    ■指導者用タブレット端末 ■児童用タブレット端末    □その他（                      ）
活用コンテンツ等	○ 発表ノート    ○ コラボノート    ○ Teams
ICT 活用のポイント	○テレビ会議アプリ「Teams」を通して、他校と資料を共有して発表し合うことができる。 ○遠隔交流時に「発表ノート」を活用することで、画面上で資料を共有することができる。 ○本時の感想を「コラボノート」に入力することで両校の感想を円滑に共有することができる。

### (2) 目 標

- 買い物調べの結果を発表し合い、両校の似ているところと違うところを伝え合うことができる。
- 「コラボノート」に本時の感想を入力することができる。

(3) 展 開

学習活動	☆ICT 活用のポイント ◇指導上の留意点	使用機器 コンテンツ	評価
○本時の学習課題を確認する。			
めあて 買い物調べの結果を発表しあおう。			
○買い物調べの結果を発表する。  ○発表を聞く時は、ワークシートにメモを取る。(※資料②参照)	☆テレビ会議アプリ 「Teams」を通して、他校と資料を共有して発表し合うことができる。  ☆遠隔交流時に「発表ノート」を活用することで、画面上で資料を共有することができる。  ◇聞き手に伝わりやすい発表(声の大きさ、スライドの移動タイミングなど)になっているかを意識させる。  ◇両校発表終了後、Teamsの接続を終了する。	授業用 PC ウェブカメラ 大型モニター タブレット端末 (児) 発表ノート Teams	○発表時には、声の大きさや速さに気を付けて聞き手を意識した発表することができる。  ○発表を聞いて、気づいたことをメモしている。
○両校の発表を聞いて似ている点と異なる点について話し合う。	◇買い物調べの結果の特徴に着目させる。		○発表し合う中で、それぞれの地域の買い物の相違点に気づくことができる。
○本時の感想を「コラボノート」に入力して意見交流する。(※資料③参照)	☆本時の感想を「コラボノート」に入力することで両校の意見を円滑に共有することができる。	タブレット端末 (児) コラボノート	○感想を読み合い、発表の内容や伝え方を振り返っている。

ワークシートを拡大したもの

めあて 買い物調べの結果を発表し合って、今里小と同じところとちがうところを見つけよう。

①発表する。

発表するとき

- 大きな声でゆっくりと伝える。
- マイクの前で発表する。
- 言葉にあわせてスライドをそうさする。

②発表を聞いてメモを取る。

③発表を終えてにているところ、ちがうところを考える。

④コラボノートに感想を入力する。

発表を聞いてメモを取ろう！

名前（ ）

にているところ	ちがうところ	新たな発見

まとめ ちいきによって買い物のしかたにちがうところがあることがわかった。

資料①「買い物調べ」

買い物調べ

( )はん 名前( )

▼調べ方

- 1週間、お家の人がどの店で、どんな品物を買ったのかたずねる。
- 行ける場合は、お家の人といっしょに買い物に行く。
- レシートがあれば、さんこうにする。
- お家の人に聞いた話（なぜその店にしたのか など）や、買い物調べをしていて、気づいたことや気になることがあればメモしておく。

日付	買い物した店	何で行ったか (車、歩き、自転車など)	買った品物	なぜこのお店で 買い物をしたのか？
※見本	スーパー	歩き	魚、お肉、お米	お家の人に聞いたり、 買い物調べて気づいた ことを書いたりしよう。
8/29 (土)				
8/30 (日)				
8/31 (月)				
9/1 (火)				
9/2 (水)				
9/3 (木)				
9/4 (金)				

⇒9月7日(月)に、ていしゅつします。



資料②「南港桜小学校の発表時のメモ」

**発表を聞いてメモを取ろう！**

名前 (                      )

にているところ	ちがうところ	新たな発見

資料③「コラボノート感想ページ」

「買い物調べの感想」－A3横－（協働学習中）

ページ

今里小学校

南港桜小学校1

南港桜小学校2

**買い物調べの発表をやってみて**

新しく知ったことや、これから調べたいことなど入力してみましょう。

1番	2番	3番
4番	5番	6番
7番	8番	9番
10番	11番	12番
13番	14番	15番